

## はじめに

問い合わせ (本研究で明らかにすること)

同じ言葉遣いで話した時にどんな態度によって良い印象となるのか

## まとめ(結論・考察・今後の展望)

問い合わせ (本研究で明らかになったこと)

まっすぐな姿勢で話すとより良い印象になる

## 背景

言葉遣いと態度の関係を調べて高校生同士で言葉遣いを気にしなくても良い印象を持たれるようになりたい

## 意義

言葉遣いと態度によって、相手にどのような印象をもたらすのかを知ることで、初対面の人への対応にどんな方法が効果的かという方針が決まる。効果的な方法が普及することで、高校生の初対面の会話を円滑に進め、良い印象を与える手助けとなる。

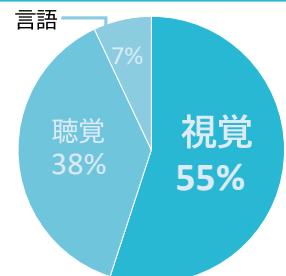
◆ 敬語 + まっすぐな姿勢、省略 + 前のめり

→ 言語と視覚 (態度) が一致

◆ 省略 + まっすぐな姿勢 → メラビアンの法則

… コミュニケーションにおいて非言語情報が重視される法則。

→ より良い印象に



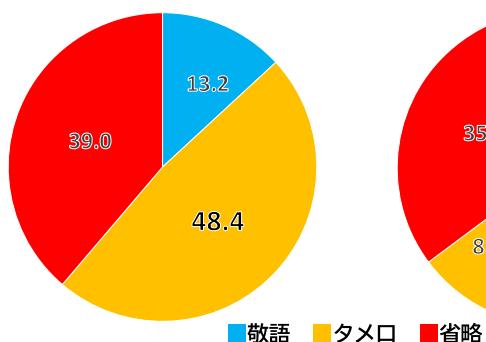
## 研究対象と方法

研究対象：希望ヶ丘高校の生徒1,2年生

## 《予備実験》

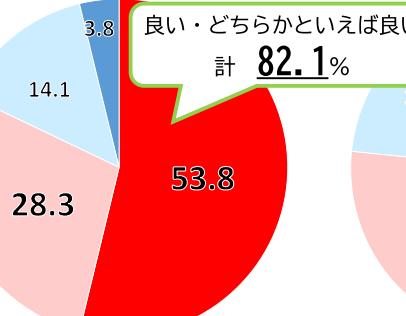
- (1) ①敬語(です・ます調)  
②タメ口(敬語を使わない、相手と対等の立場で話す)  
③省略(タメ口よりもさらに碎けた話し方、助詞を省く)  
の3種類にわけて文章を話し、録音する。
- (2) (1)で録音した音声の印象を4段階で評価してもらう。

## 一番印象が良かったもの 一番印象が悪かったもの

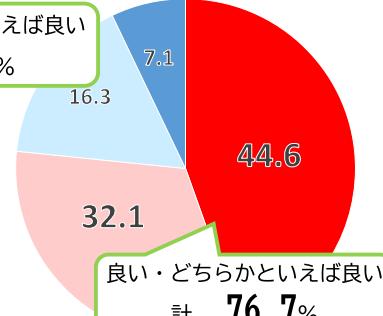


## 結果

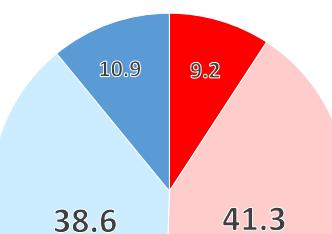
## 敬語 + まっすぐな姿勢



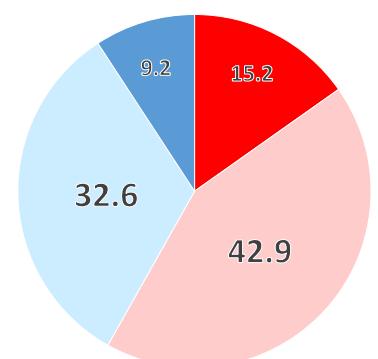
## 省略 + まっすぐな姿勢



## 敬語 + スマホを持つ



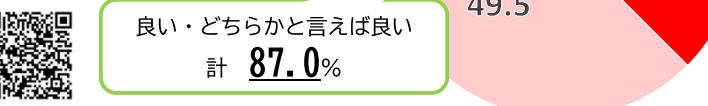
## 省略 + スマホを持つ



良い・どちらかといえば良い  
悪い・どちらかといえば悪い  
どちらともおおよそ半分!!

■ 良い ■ どちらかといえば良い  
■ どちらかといえば悪い ■ 悪い

良い・どちらかと言えば良い  
計 87.0%



## 《本実験》

- (3) (1)で使用したうちの敬語・省略の音声に  
①まっすぐな姿勢②スマホを持つ  
③前のめりに座る④頬杖をつく  
の4種類の姿勢の写真を組み合わせた動画を見てもらう。
- (4) (3)の動画の印象を4段階で評価してもらう。
- (5) (4)で得られた結果から、2つの音声が姿勢によってどのように変化したかを調べる。

## 参考文献・引用文献

「やっぱり人は見た目が9割」竹内一郎 2023年7月20日  
「失礼な敬語 誤用例から学ぶ正しい使い方」野口恵子 2013年6月20日  
「Silent message」アルバート・メラビアン 1971年

